

法学委員会生殖補助医療と法分科会 第26期・第1回委員会

議事要旨

日時：令和6（2024）年4月29日（月）18時～20時05分

場所：オンライン（Zoom）会議

出席者（敬称略）：山田八千子、小浜正子、建石真公子、柘植あづみ、西希代子、二宮周平、早川眞一郎、水野紀子、三宅秀彦、吉沢豊予子、來田享子

欠席者 米村滋人

議事内容

1. 役員決定

委員の自己紹介の後、委員長、副委員長、幹事2名を決定した。

委員長 建石真公子委員

副委員長 水野紀子委員

幹事 來田享子委員、山田八千子委員

2. 特任連携会員について

以下の2名を特任連携会員として申請する必要性について議論された後、承認された。

石井 哲也 北海道大学安全衛生本部教授

久具 宏司 国際医療福祉大学成田病院教授

3. 意思表出について

建石委員長から、論点等をめぐる状況を鑑みて可能な限り、26期内に生殖補助医療と法についての見解を提出することが提案され、承認された。見解提出のスケジュールや進め方について、意見が交換された。

4. 出版計画について

出版計画が進んでいる学術会議叢書32について、提案したスケジュール通り進めていくことが確認された。

5. 日本学術会議を取り巻く現状について

建石委員長および第1部会員の山田委員から、令和6年4月に開催された総会で承認された声明「政府決定『日本学術会議の法人化に向けて（令和5年12月22日）』に対する懸念について～国民と世界に貢献するナショナル・アカデミーとして～」を中心にして、日本学術会議を取り巻く現状について説明があり、質疑が行われた。

6. その他

議事要旨の承認は、会議開催後にメールにより出席者が議事要旨の内容を確認し、出席者全員が確認したことが明らかになった後、承認については議長に一任する方法によることが了承された

次回の委員会は、オンラインにて開催、日程については6月から7月にかけて調整されることとなった。

小浜委員から、生殖補助医療と法にかかわるテーマを扱う、小浜委員が代表者である科研基盤Aにかかわるシンポジウムについて、本分科会の協力が要請され、了解された。

配布資料

1. 開催要項
2. 委員名簿
3. 特任連携会員関連資料
4. 意思表出-ロードマップ
5. 出版企画資料
6. 学術会議総会の資料